

とおちっ子

十市小学校だより第25号

令和6年11月8日

文責 藤川 尚司

11月になり、めっきり秋が深まったような気候になりました。ついぞ前週末までは昇降口での朝のあいさつの時間は半そでのシャツで過ごしていたのですが、急に気温が下がったので、上着が手放せなくなりました。近年は、おだやかな気候の春と秋が短くなって、「四季」が失われて「二季」に近づいているとの指摘もあるそうです。確かに、気温の変化の大きさを思えば、季節変化も急に訪れるなあと感じます。気候変動で、日本の春夏秋冬の趣も変わっていくのでしょうか…。

さて、11月6日(水)に行われた全校集会で、南国市の体育的行事(水泳・陸上記録会)の表彰状伝達式を行いました。好記録を残した選手を紹介し、代表の選手に表彰状を渡しました。式では選手の名前を呼び、ステージ前に並んでもらったのですが、それぞれの選手名前を呼ばれたときに「はい!」と元気のいい返事をしていました。練習を重ね、その成果を発揮した選手の皆さんを、あらためて大いに讃えたいと思います。



かつおのたたき体験

11月1日(金)に、高知県水産振興部と高知中央卸売市場の方を講師に招いて、4年生がわら焼きかつおのたたき体験をしました。

1組と2組に分かれて、魚についての座学とかつおのたたき体験を、1時間ごとに交代しながら行いました。

かつおのたたき体験では、本職の魚屋さんが立派なかつおを捌くのはなかなかの迫力で、4年生は興味津々、食い入るように見つめていました。わら焼きも体験させてもらいましたが、わらをくべると炎が大きく上がるので、やや腰を引き気味に見える子もいましたが、果敢に火に立ち向かっていました。

出来上がったかつおのたたきは、大きな皿鉢に盛り付けられて、とてもおいしそうでした。みんなでありがとうございました。

かつおのたたきは高知ならではの郷土料理として全国にも広く知られています。それだけに、地元で育つ子どもがたたき体験をすることは、食育だけでなく郷土への愛着を深める意味で意義があるだろうと考えています。ご協力いただいた方々に感謝を申し上げます。



就学時健診

11月7日(木)に、令和7年度入学予定の子どもたちに向けた就学時健診を行いました。健診では、子どもへの諸検査等を行うとともに、保護者の方に学校生活等に関わるお話をさせていただきました。

新入生は園所の生活とはずいぶん違う環境に戸惑うこともあります。約300名での集団生活、チャイムでの生活、何よりも教科の学習が始まります。子どもも保護者も、きっと不安な思いも抱くことでしょう。それでも日を追うごとに子どもたちは生活に慣れ、6年間の小学校生活を終える頃には、たくましく成長した姿になります。学校では、先生たちが新しいルールや活動に慣れていくように、ゆっくり、丁寧に指導し、一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう努めたいと思います。

子どもたちのよき成長には、何よりも保護者の方のご理解とご支援がとても大切です。よろしくお付き合いいただければ幸いです。4月の入学式で、元気な新入生の皆さんと出会うことを楽しみにしています。



交通安全にかかわって —無灯火に気を付けて—

日暮れが早くなるこの時期、子どもたちの帰宅時刻にはすっかり暗くなっていることもままあります。また、スポーツ少年団への参加に自転車を利用する子どももいるのではないかと思います。無灯火の自転車は、事故に遭遇する可能性が高くなります。ぜひ、各ご家庭で自転車のライトの点検をお願いします。

就学時健診では、交通安全にかかわるお話を駐在さんや南国署の方からいただきました。その中で、特にこの時期に注意したいことについてお話があったので紹介いたします。それは、自転車の無灯火についてです。